TimeSelector 製品ガイド

学習計画の自動作成と見直し



学習環境のイメージ。画像生成による写真であり、製品の実画面ではありません。

学習内容と使える時間を計画にする

TimeSelector は、取り組みたい学習と所要時間、学習できる空き時間を登録し、条件に合わせて予定を配分する Windows アプリです。資格試験や大学での学習など、複数の課題を限られた時間で進めるための計画作成を支援します。

このガイドでは、従来の Windows 版に備わる機能を図解で紹介します。新しい月額契約と Web 連携は開発中です。販売受付は準備中で、価格・開始日は決定していません。

DEZIST（デジスト）
個人事業の屋号であり、TimeSelector の開発・運営主体です。

01 計画を作る前に決めること

目標と学習範囲を決め、その範囲を具体的な作業に分けます。必要な時間を見積もり、生活の中で実際に使える時間を登録します。

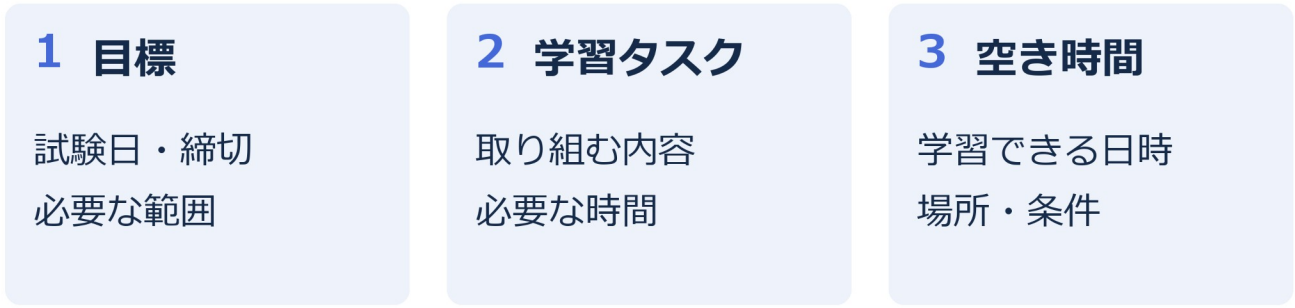


図1 学習計画に必要な入力

タスクとプロジェクト

「テキスト第1章を読む」「問題を10問解く」など、一つひとつの作業がタスクです。同じ資格や科目など、ひとまとまりの目的でタスクを集めたものをプロジェクトと呼びます。

登録する内容	資格学習の例
目標と期限	試験日までに問題集を終え、復習する
タスクと所要時間	章ごと・問題ごとに区切り、60分や90分などを見積もる
空き時間	平日の帰宅後、通勤中、休日の午前など
必要な条件	分割しない、順番を守る、自宅で行うなど

予定は入力した見積もりをもとに作られます。初回から細かく決めすぎず、実際の進み方を確認しながら所要時間と空き時間を調整します。

02 学習タスクを空き時間に自動配分する

特別な条件を指定しない場合は、学習タスクを可能な限り早い空き時間から配分します。連続した時間に収まらないタスクは、複数の枠に分けて配置できます。



図 2　210 分の学習を、金曜 90 分と土曜 120 分に配分する説明例

分割して短い空き時間を使う

図では、90 分のタスク B を金曜の 30 分と土曜の 60 分に分けています。短い空き時間を含めて計画できます。まとまった時間が必要なタスクには、次のページの非分割条件を付けます。

計画に収まらない場合

学習量に対して空き時間が足りない場合や、条件を満たす時間がない場合は、計画を見直します。学習量・所要時間・空き時間・期限を確認してから再計算してください。

03 まとまった時間と取り組む順序を指定する

タスクには、途中で区切りたくない作業や、前の内容を終えてから進めたい作業があります。非分割条件と配分順番条件で、その進め方を計画に反映します。

非分割条件

模擬試験や長い計算問題など、集中して取り組みたいタスクを一続きの時間に配分します。必要な長さの空き時間を登録しておくことが必要です。

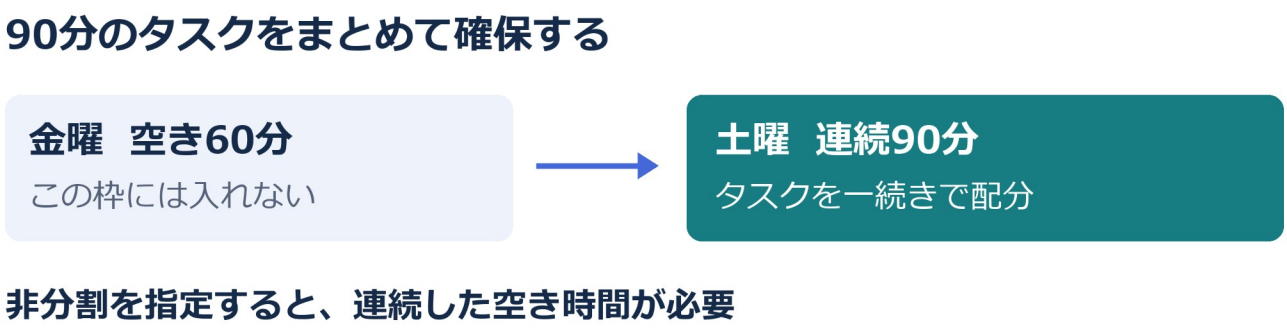


図 3　非分割を指定した 90 分のタスク

配分順番条件

基礎から応用へ進むなど、指定した順序を優先します。順番が指定されている場合は、空き時間を前から埋めることよりも、その条件が優先されます。



図 4　学習する順序を指定する例

04 場所と曜日を学習内容に合わせる

空き時間があっても、すべての作業がどこでもできるとは限りません。タスクと空き時間の場所を合わせ、必要に応じて曜日も指定します。

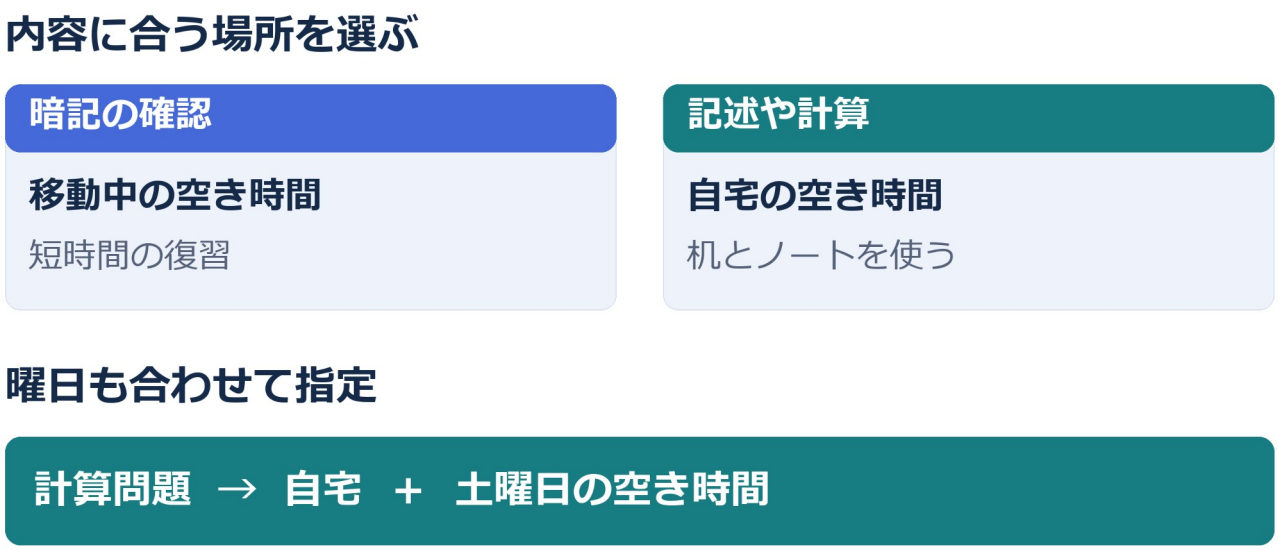


図 5　学習内容に合わせた場所と曜日の指定

場所を指定する

たとえば、移動中は暗記の確認、自宅ではノートを使う計算問題に取り組む、といった使い分けができます。タスクに指定した場所と、登録した空き時間の場所の一致を考慮して配分します。

曜日を指定する

難しい問題を休日に進めたい場合などは、土曜日といった曜日の条件を加えます。場所と曜日の両方を指定すると、両方の条件に合う空き時間が必要になります。

条件を増やすほど配置できる時間は限られます。予定が収まらないときは、条件を確認したうえで空き時間や学習量を見直します。

05 復習を含めて計画する

初回の学習だけでなく、復習する時間もあらかじめ計画に含めます。復習の回数と時期を指定し、設定した期間内に復習タスクを配分します。

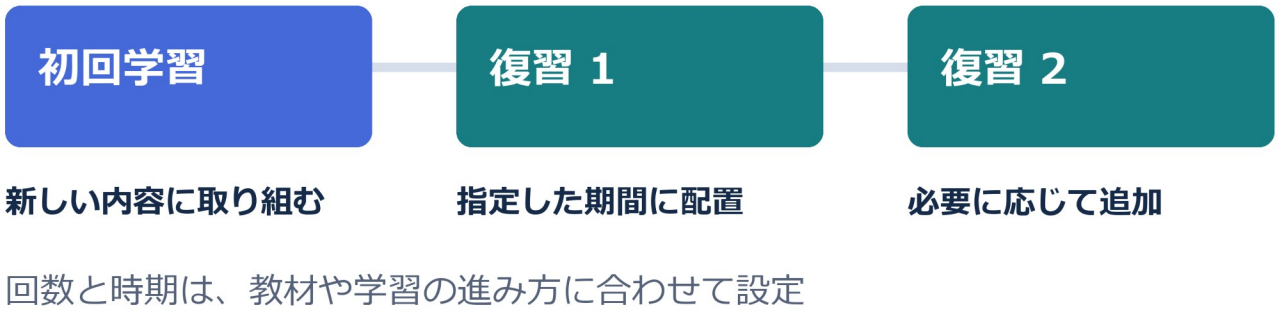


図 6 初回学習と復習を組み合わせる考え方

回数と時期を自分で決める

復習の回数や時期は、教材の量、試験までの日数、理解の状況に合わせて設定できます。復習のための空き時間も必要になるため、初回学習だけで時間を使い切らない計画を考えます。

設定の例

1回の復習を、初回学習の 2 日後以降から 7 日後以内に入れる設定例があります。この日数は機能を説明する例であり、すべての学習者に最適な間隔を示すものではありません。

学習結果を見て調整する

復習を予定に入れても、理解や記憶、試験結果が保証されるわけではありません。取り組んだ結果を確認し、復習する内容・回数・時期を見直してください。



資格学習に取り組む場面のイメージ。画像生成による写真です。

06 複数の科目や目標をまとめて配分する

複数のプロジェクトを同じ予定の中で扱えます。資格の専門科目と語学など、それぞれの期限と条件を登録し、全体の時間配分を確認します。

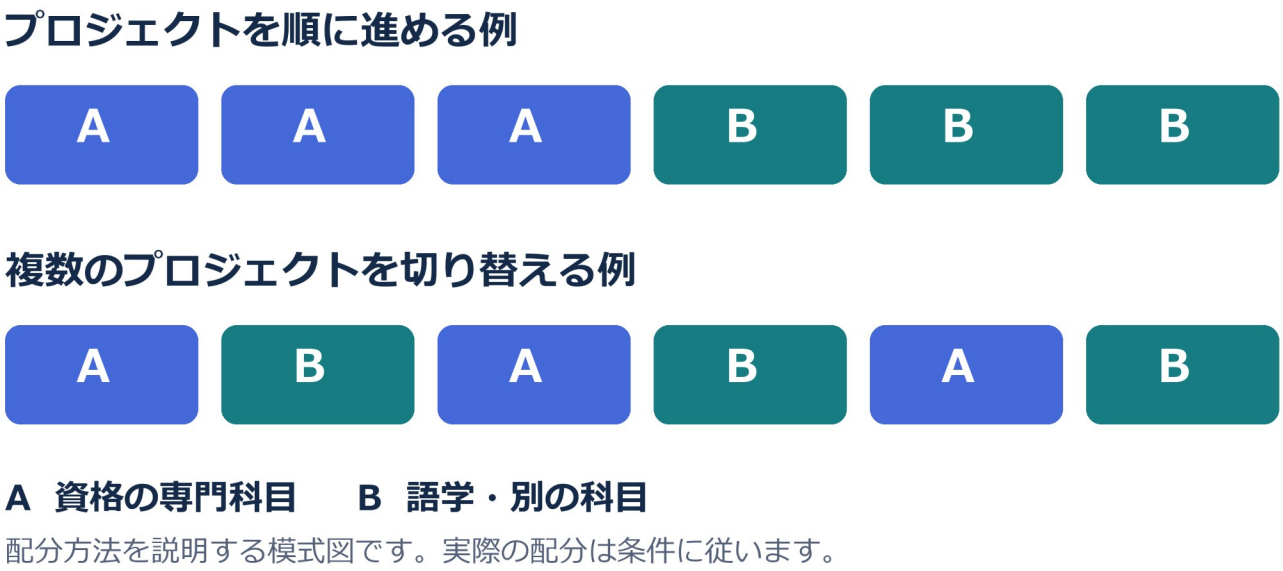


図 7 プロジェクトの配分方法の違い

プロジェクトの順番と切り替え

一つを終えてから次に進める方法と、複数を切り替えながら進める方法を使い分けられます。プロジェクトに対しても配分順番条件を指定できます。

進行倍率

プロジェクトごとの進行倍率で、配分の進み方を調整できます。ただし、場所・曜日・順番などの条件を守ることが優先されるため、指定した倍率どおりに配分されない場合があります。

07 予定の変化に合わせて組み直す

急用や学習の遅れが生じたときは、登録した情報を更新し、自動スケジューリングをやり直します。残りの学習量と使える時間を見直すことが、再計画の出発点です。

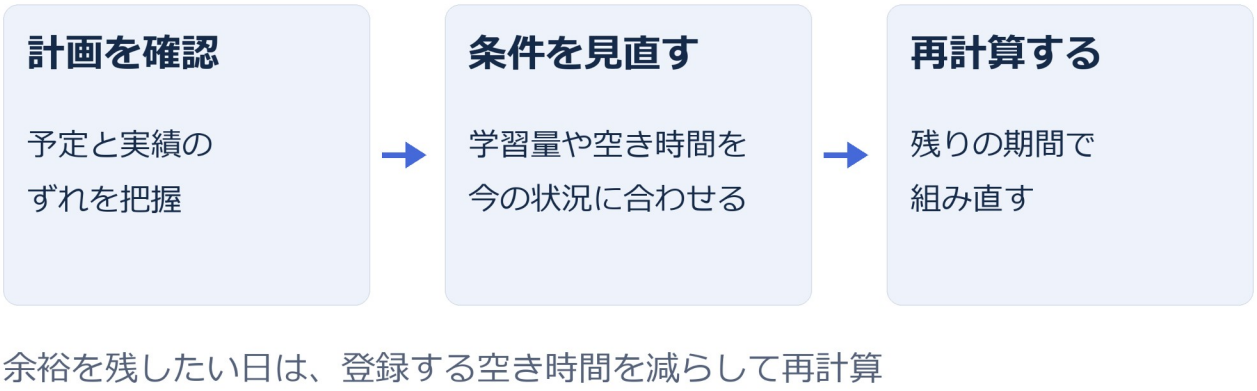


図 8 実績の確認から再計画まで

日々の進み方を確認する

予定と実際に取り組めた内容を比べ、見積もった所要時間が適切だったかを確認します。定期的な見直しに加え、生活の予定が大きく変わったときにも条件を更新します。

負荷をならす

基本の配分は前倒しになるため、特定の日に学習が集中することがあります。余裕を持たせたい日は、利用者が空き時間を減らしたり削除したりして再計算します。負荷を完全に自動で平準化する機能として紹介しているものではありません。

期限までの見通しを確認する

必要な学習量が入るかを先に確かめることで、学習範囲や時間の確保を検討できます。計画は達成を保証するものではなく、行動と見直しを助けるための情報です。

08 Web 入力と Windows 版の連携を開発中

今後は、TimeSelector.com で入力した予定を、利用者自身の Windows PC で計算する連携方式を予定しています。オンラインでの入力と、Windows 版の自動スケジューリングを組み合わせます。

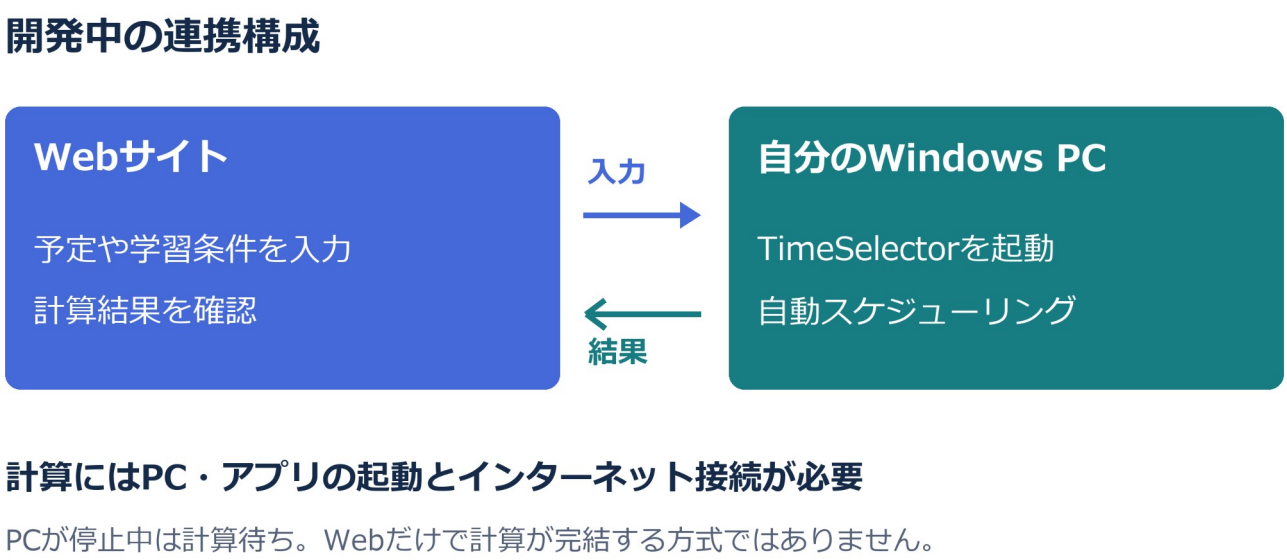


図 9 開発中の Web 連携の概要

利用者の PC で計算する構成

Web サイトで予定を入力し、Windows 版が定期的に取得して計算し、結果を Web サイトへ反映する構成です。計算を進める間は、PC とアプリを起動し、ネット接続を保つ必要があります。

新しい契約方式も準備中

月額契約と PayPal による決済を予定しています。正式な価格、提供プラン、対応環境、利用条件、受付開始日は、販売案内サイトで確定後に案内します。現在は購入受付を開始していません。

09 ガイドの目次と関連情報

この資料は、従来の製品説明を読みやすく再編集した製品ガイドです。具体的な画面操作は Web 取扱説明書を参照してください。旧版の画面や操作については、説明書内の注記を確認してください。

掲載内容	ページ
計画を作る前に決めること	2
学習タスクの自動配分	3
非分割条件と配分順番条件	4
場所と曜日の指定	5
復習の設定	6
複数プロジェクトと進行倍率	7
再計画と負荷の調整	8
開発中の Web 連携と契約方式	9

公開サイト

DEZIST 事業と製品の紹介　https://www.dezist.jp/

TimeSelector 販売のご案内　https://timeselector.com/

TimeSelector Web 取扱説明書　https://timeselector.com/manual/

改版履歴

改訂日	版	主な変更
2026-11-08	v1	旧概要資料を再構成。全説明図を新規作成し、現在の提供状況を明記。

原資料　DEZIST「TimeSelector 概要説明」全 20 ページ（2009 年の資料）。本版は機能説明を整理し、文章と説明図を新たに制作しています。

図は機能を説明する模式図です。実際のアプリ画面や特定条件での計算結果を再現したものではありません。